

# 会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度 新座市子どもの放課後居場所づくり事業 運営委員会（第3回）
開 催 日 時	平成31年3月14日（木） 午前10時から午前11時まで
開 催 場 所	本庁舎2階 203・204会議室
出 席 者	金子 廣志 平岡 健二 高橋 靖子 須田 邦彦 結城 美千代 石原 志穂 岩出 晃 金澤 仁美 宇原 悦子 磯貝 幸子 土屋 賢治 萩原 宏枝 森田 和憲 一ノ関 知子 渡辺 哲也 梅田 竜平 三枝 努 榎本 哲典 大井 敏彰 川島 聡 金子 啓一  <div style="text-align: right;">計21名</div>
事 務 局 職 員	生涯学習スポーツ課 小糸、藤田、天倉 向山、福田、武嶋
会 議 内 容	1 開会 2 挨拶 3 議事 (1) 各ココフレンドの活動状況報告について (2) 新規開設校及び長期休業日の午後の開設校について (3) 子どもの放課後居場所づくり事業実施要綱の改正について (4) ココフレンド各種マニュアルの改訂について (5) 運営委員会今後のスケジュール 4 その他 5 閉会

会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第資料</li> <li>・ココフレンド緊急時対応マニュアル【平成30年度改訂版】(案)</li> <li>・ココフレンド衛生管理マニュアル【平成30年度改訂版】(案)</li> </ul>
その他の特記事項	特になし
審議の内容 (審議経過、結論等)	
<p>1 開会 (司会：福田主事)</p> <p>2 挨拶 (金子教育長)</p> <p>3 議事 (進行：金子委員長)</p> <p>(1) 各ココフレンドの活動状況報告 (説明：藤田主任) (資料1～6頁)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登録児童数は、各ココフレンドとも概ね5割を超えており、東野、東北及び栗小ココフレンドについては6割を超えている。前年度と比較しても9校中7校で登録率が上がっている。</li> <li>・ 学年別では、高学年の登録率が高くなっている。これまで高学年の登録率が1割～2割のココフレンドが多かったが、今年度は東野、東北、新堀、栗小及び八石ココフレンドで5割程度の登録率になっている。高学年も楽しめるイベントの実施や、ココフレンド事業が子どもたちに定着してきたことによるものと考えられる。</li> <li>・ 参加人数の平均はココフレンドによって差があるが、20名～50名程度となっている。</li> <li>・ 1月、2月は、ココフレンドを開設している全ての学校でインフルエンザ様疾患による学級閉鎖があった。昨年度は、インフルエンザが流行している期間中は参加児童が大幅に減少したが、今年度は参加人数に大きな変動は見られなかった。</li> <li>・ 東野、石神、新開ココフレンドでは、1日当たりの平均参加人数が、前年度と比較して10名程度増加した。また、新開及び栗小ココフレンドでは夏休みの参加人数が増え、新開ココフレンドでは平均参加人数が12名増加、栗小ココフレンドは前年比の2倍の参加があった。</li> </ul> <p>● 平成30年度下半期の活動状況について (資料7～8頁)</p> <p>東野、東北、野寺及び大和田ココフレンドはコーディネーターから、石神、新堀、四小、栗小、新開、八石及び栄ココフレンドについては、事前にいただいた報告を事務局が代読した。</p> <p>〈東野ココフレンド〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3学期は30名～40名の子どもたちが元気に参加している。</li> <li>・ 1年間を通して、子どもたちの心身の成長が見られた。先生方も子どもたちの様子を見に来て、成長の様子を喜んでくれている。</li> <li>・ 日頃から保護者とコミュニケーションを取ることを心掛けているが、子どもたちがココフレンドに楽しく参加していること等を聞き、励みになっている。また、校長先生や教頭先生からも「ココフレンドは子どもたちの</li> </ul>	

大切な居場所になっている」という言葉をいただき、大変嬉しく思っている。

- ・ 3月末には6年生を送る会を予定している。毎年、プラバンでネームプレートを作り、カードと一緒にプレゼントしている。

#### 〈石神ココフレンド〉

- ・ 冬休みのココフレンドは、12月25日（火）に、オカリナコンサート、26日（水）には、「赤いりんご」によるお話会を開催し、両日共20名程度の参加があった。オカリナコンサートには、放課後児童保育室からも37名参加してくれた。イベントがなかった日は10名前後の参加であった。1月7日（月）はゲーム大会を予定していたが、参加者は8名だった。
- ・ 3学期に入り、毎日30名前後の参加人数である。インフルエンザが流行している時期は、少し参加を控えている家庭もあったようである。
- ・ 冬時間に入りお迎えが多くなったのだが、冬時間が終了しても引き続きお迎えの家庭が多い。
- ・ 問題行動を繰り返す児童が数名いる。保護者宛ての注意のお手紙を児童に持たせたところ、行き違いがありトラブルになってしまった。保護者とのコミュニケーション、事務局への連絡が重要である。また、十分な見守りができるスタッフの配置も必要である。

#### 〈東北ココフレンド〉

- ・ 1、2年生の参加と5年生の参加が多いのが特徴である。放課後児童保育室を卒室した5年生がココフレンドに参加しているようである。
- ・ 大学生のスタッフ5名の内、3名が就職等により今年度いっぱい活動を終了する。新規スタッフの方々に入ってもらっているが、子どもとの接し方がとても落ち着いており、温かい雰囲気である。
- ・ 今年度も毎年行っている料理教室を開催し、焼きそば、豚汁を作った。今回は、あらかじめ下茹でした野菜を用意し、子どもたちには果物ナイフで食材を切る体験をしてもらった。
- ・ 12月に放課後児童保育室と合同で避難訓練を行った。学校の御配慮で、放課後の一般の子どもたちも一緒に行くことにしたのだが、ちょうど下校時間と重なってしまい10名ほどの参加であった。放課後児童保育室の児童は約100名、ココフレンドの児童は約20名で実施した。来年度は実施時間を検討し、放課後に校庭で遊んでいる一般の児童も巻き込んだ避難訓練を行いたい。

#### 〈新堀ココフレンド〉

- ・ 3学期になり、参加者の半数は、週3日前後参加する子どもたちである。他の子どもたちは、自分の参加できる日にココフレンドに来室している。
- ・ 1年生はココフレンドでの過ごし方にも慣れ、指示されることなく活動している。また、スタッフとのコミュニケーションもできるようになり、自分の気持ちや考えを伝えたり、説明できるようになりつつある。
- ・ 今年度は天候に恵まれ、外で遊ぶことが多く、思いきり体を動かすことができた。
- ・ スタッフのアイデアを生かし、長期休業中や月に数回、様々なイベントを実施している。スタッフの意欲も高められているようだ。

- ・ 特別な配慮が必要な子が数名いるが、市の研修会やスタッフミーティング等で障がいについての理解を深め、子どもたちに対する接し方や個別の支援の仕方においてスキルアップができた。

#### 〈四小ココフレンド〉

- ・ 懇談会等の学校行事がある日は特に参加人数が多く、通常の活動ができないため、小さなイベントを企画するなど工夫している。
- ・ 11月中旬頃から参加人数が徐々に少なくなってきた。暗くなるのが早く、遊ぶ時間が短いからだと思われる。
- ・ 怪我の判断と処置が難しい。軽い怪我の場合は救急箱の中のもので処置しているが、気になる怪我の場合は必ず保護者に連絡するようにしている。
- ・ 最近は積極的に自分から友達づくりができない子がいるので、ココフレンドでたくさんの友達と遊べることは子どもたちにとって良いことである。また、スタッフから折紙、工作、将棋などを教えてもらえるので、子どもたちの経験値も高まると思う。

#### 〈野寺ココフレンド〉

- ・ 3学期になり参加者が減っている。30名に届かない日が続いており少し寂しい状況である。
- ・ 3月7日（木）に「6年生ありがとう」の会を行い、89名が参加した。その内6年生は14名で、賑やかに6年生の卒業を祝った。
- ・ 11月から7名の新規スタッフが活動している。皆、ココフレンドのルールに慣れるように努力してくれているが、些細なことで子どもたちとのトラブルもあるようだ。新年度に向けて解消していきたい。

#### 〈栗小ココフレンド〉

- ・ 3月1日現在、全校児童405名のうち63%にあたる255名の登録がある。開室4年目ということで、概ね4年生までの参加が主である。コーディネーターとスタッフで情報交換を密にしながら、子どもたちの活動をサポートしている。
- ・ 今年度から長期休業の午後も開室することになり、子どもたちの安全を最優先に考えた活動場所の選定に苦慮した。夏休みは予想を上回り、平均約43名の参加があった。冬休みも平均37名の参加で、年末のお楽しみ会は栗小ココフレンド史上最多の参加で行った。冬休みの午後も天気に恵まれ滞りなく活動できた。
- ・ 夏休みは事務局が用意した5つのイベントとスタッフの計画したイベントを盛り込み、イベント以外の日には折紙、毛糸、布などを活用した「ミニ教室」を実施した。台風の影響で急遽スケジュールを変更しなくてはならなかったが、学校と事務局と連携を図りながら対応することができた。大きな事故や怪我がなく過ごすことができた。
- ・ 午後の委託をしたシルバー人材センターのスタッフも、子どもたちとのコミュニケーションの取り方に少しずつ慣れ、将棋などの特技を生かして楽しみながらサポートしてくれ、大変助かっている。
- ・ 冬時間は参加者がやや減り、1、2月は平均20名程度の参加だったが、皆元気に活動している。

- ・ スタッフの状況の変化や高齢化が懸案事項になっている。4月からはスタッフの入れ替わりもあり、うまく世代交代をすることが肝要である。新規スタッフの持ち味を生かせるよう、事務局とも相談をしながら楽しく安全な居場所を確保していきたい。

#### 〈新開ココフレンド〉

- ・ 1月は、スタッフ手作りの福笑いや凧揚げ、かるた等の昔遊びを行った。2月は恵方巻きや鬼のお面作りをした。
- ・ 遊びの時間は一輪車の練習をする子どもたちが多く、時間配分や一輪車の譲り合いに気を配り、転倒にも負けず練習をする姿に成長が感じられる。
- ・ 保護者が車でお迎えに来て、親切心からほかの子も乗せて帰ることがあった。車での来校は禁止されており、事故等の心配もある。事務局に報告し、ココフレンドだより等で対応した。
- ・ 今年度の1日当たりの参加人数は、昨年度よりも10名程度増加した。
- ・ 新座ココフレンドの新規開設に伴い、スタッフの異動が見込まれる。引き続き活動してくれるスタッフの希望を考慮しながら、シフトの調整をする必要がある。

#### 〈大和田ココフレンド〉

- ・ 開設から2年目になる。学校の御配慮をいただきながら順調に活動している。
- ・ 秋から冬にかけては参加児童が減少し、1、2月は30名前後の日が多くなっている。1、2年生がほとんどで、3、4年生は合わせて7～8名だが、元気な子が多くトラブルになることがあるので、別の部屋を使わせていただいて対応している。また、保護者に連絡し、学校の先生にも御指導いただいている。
- ・ 普段携帯ゲームなどをして遊ぶことが多い子どもたちも、ココフレンドではジェンガ、将棋、おはじきなど素朴なもので自分たちで考えて遊んでいる。子どもたちにとって面白い体験になっていると思う。
- ・ イベントは長期休業中が中心で、日常のイベントはあまり行っていないが、十文字学園女子大学の学生が授業の一環としてイベントを行ってくれている。今年度は食育に関することや新しい遊びなどを子どもたちに教えていただいた。
- ・ スタッフの特技や個性を生かし、読み聞かせ、紙飛行機大会、ギターとウクレレのミニコンサートなどを行った。スタッフ同士の交流の中からもいろいろな輪が広がり、ココフレンドがスタッフの活躍の場になっている。
- ・ 12月に放課後児童保育室と合同の避難訓練を行った。地震速報の放送を流したところ、一般の子どもたちも校庭の中央に集まり訓練に参加してくれた。
- ・ 新規開設ココフレンドのスタッフとの待遇の差が気に掛かる。新規のココフレンドに移ってしまうスタッフもいる。

#### 〈八石ココフレンド〉

- ・ 参加児童の顔ぶれがだいぶ固定されてきて、スタッフも子どもたちの名前と顔がかなりわかるようになってきた。

- ・ 迎えに来た兄が自分も一緒に遊んでしまい、下の子をなかなか連れて帰らないなど、きょうだいのお迎えで問題が多発している。保護者に連絡をし、注意をしている。
- ・ スタッフが持ち寄った廃材で自由に工作することが、子どもたちの間で流行している。

#### 〈栄ココフレンド〉

- ・ 日々の参加人数は10名程度で、ほとんどが1年生である。3学期になり、放課後児童保育室からの参加が2、3名と増えている。
- ・ 参加者が少ないので、スタッフや子どもたちの意見を聞き、月に2～3回のペースでミニイベントを実施するようになった。スタッフの特技や趣味を生かして、工作、陸上教室、つりゲーム、将棋やマンカラなど今後も計画している。
- ・ 小さいトラブルが起きることもあるが、参加人数が少ないこともあり、スタッフは子どもの名前や個性を覚えており、ほめたり励ましたり、適切な対応ができています。
- ・ 今後もスタッフと情報交換を行いながら、子どもたちを見守っていきたい。

**委員長** ココフレンドが定着し、参加人数も安定してきており、子どもにとって大変有意義な居場所になっていることがわかる。様々なイベントを企画していただいたり、避難訓練を行ったりと内容の充実が図られている。また、ココフレンドを通じて、社会参加ができなかった地域の方々が生きがいを見いだしてくれていることも一つの成果である。待遇改善については今後の課題である。

東野ココフレンドは、参加者が100名を超える日が年間13日もあるが、どのように活動しているのか。

**コーディネーター** 学校に御協力頂いて、空いている教室をお借りしている。子どもたちもスタッフも人数が多いことに慣れていて、特に問題なく活動できている。

#### (2) 新規開設校及び長期休業日の午後の開設校について（説明：藤田主任） （資料9～12頁）

- ・ 平成31年度は、放課後児童保育室の指定管理者となるシダックス大新東ヒューマンサービス（株）へ業務委託をして、西堀小学校と新座小学校で開設することとなった。第4次新座市基本構想総合振興計画後期基本計画に基づき、残りの片山小学校、野火止小学校、池田小学校及び陣屋小学校の4校については、平成32年度までの開設を目指して調整を始めているところである。
- ・ 西堀、新座ココフレンドは5月30日（木）から開室となる。  
（資料に沿って西堀、新座ココフレンド開室までのスケジュールを説明した。）
- ・ 長期休業日の午後の開設をしている東野、東北、栗小、大和田、八石及び栄ココフレンドでは、平成31年度から終了時間を15分短縮し、午前8時45分～午後4時30分までとすることとした。また、野寺及び新開ココフレンドは、上記の時間で新たに午後の開設を始めることとした。

(3) 子どもの放課後居場所づくり事業実施要綱の改正について（説明：藤田主任）（資料13～17頁）

（資料に基づき、実施要綱の改正点について説明した。）

(4) ココフレンド各種マニュアルの改訂について（説明：天倉主事）

ココフレンド緊急時対応マニュアル【平成30年度改訂版】（案）・ココフレンド衛生管理マニュアル【平成30年度改訂版】（案）について主な改訂箇所を説明した。

**委員** 放課後児童保育室からココフレンドに参加している児童が、ココフレンドの活動中に怪我をした場合はココフレンドの保険で対応するのか。

**事務局** そのとおりである。

**委員** 放課後児童保育室では、「中抜け」と言って途中で塾や習い事に行き戻って来ることがある。ココフレンドでは、そのような場合の保険はどうしているのか。

**事務局** ココフレンドでは、夏季休業中のサマースクールや水泳指導など、学校行事に関するもの以外「中抜け」は認めていない。習い事の送迎車で帰る等、通学路を外れた場合はココフレンドの保険は適用されない。

(5) 運営委員会今後のスケジュール（説明：藤田主任）（資料18頁）

・平成31年度は5月16日（木）、11月、3月の年3回の会議を予定している。

**委員** 平成31年度から17校中6校の放課後児童保育室で、シダックス大新東ヒューマンサービス(株)に運営・管理を委託する。シダックス大新東ヒューマンサービス(株)側からも運営委員会の委員として入るのか。また、西堀、新座ココフレンドの準備委員会が開催されたようだが、放課後児童保育室の支援員も出席したのか。

**事務局** 放課後児童保育室の代表として、社会福祉協議会とシダックス大新東ヒューマンサービス(株)の両者から1名ずつ委員として出席していただきたいと考えている。実行委員会についても各放課後児童保育室から室長に出席していただいている。

4 その他

特になし

5 閉会（司会：福田主事）

挨拶（平岡副委員長）